

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	個人渡航型 海外研修プログラム 2024年夏季 EF マルタ校
-----	---------------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	51905 円	学生寮に別途二食付き
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7862 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩7分)
教養娯楽費	47482 円	
被服費	0 円	
雑費	37689 円	
その他	153755 円	例: 留学期間中の個人旅行(交通費 食費 宿泊費 観光費等)
合計	298693 円	

渡航準備について	
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか	現金の用意方法: 日本にて日本円10万円分をユーロに両替 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください	クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。	30日分の sim カードを持参し、足りなかった分は現地から esim1 週間分を購入しました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか	現地で風邪をひいたため、日本製の風邪薬や解熱剤を持参しておいて良かったです。プラスチック製のカトラリーセットがごはんを食べる際にかなり役に立ちました。

現地情報	
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)	☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	渡航前に近隣地域の治安について調べ、現地ではスリ対策としてバッグが体の前にくるタイプのショルダーバッグを使用していました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。	特に問題なく使用できました。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☐バス ☐トイレ ☐キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

滞在先の寮は部屋に虫が入ってくることが多かったため、防虫効果のあるスプレー(飛行機に持ち込めるタイプのもの)を持参していた良かったです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

日本とは全く異なる授業形態で、海外の人たちと交流・会話できる機会がたくさん設けられていた。現地の先生とうまくコミュニケーションが取れず、スピーキング授業についていけず苦労したためクラスを下げることになった。クラス変更後は楽しく授業を受けられた。

2)課外プログラムについて

毎日たくさんの種類のアクティビティが設けられており、アクティビティならではの経験(スピードボートや、深夜の天体観測など)が出来た。

3)現地での生活に関すること

学校だけでなく寮にも EF スタッフが在中しており、学校には日本人スタッフもいたため、何か本当に困ったことがあればすぐに相談できるという安心感があった。マルタは比較的治安が良い場所であったため、過ごしやすかった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

同じ授業で仲良くなった人とアクティビティに参加した。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

同じ寮の学生と一緒に外食したり、一人で観光に向かった場所で話しかけられた観光客と一緒に会話しながら観光したりした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

授業内での生徒の発言の積極性の違いに驚かされた。海外の生徒のほとんどが自分の回答の間違いを恐れることなく臆さず発表していて、にぎやかかつ自由という点で、日本の授業と空気感がまるで違った。皆自分の意見にはっきりとした理由をもっているため、何か質問をされ、それに対して回答をするとなんかの頻度で『Why?』と聞かれた。普段からあまり理由や根拠を自分の中で落とし込まないまま、なんとなく物事を判断していたことを実感させられた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

一か月の短期語学留学前後の自分を比較し、最も変化を実感したのは「度胸と自信がついた」ということです。ひとりで海外に向かった経験など全くなく、英語力に自信があるわけでもなかった私は、両親からの勧めと、せっかくの夏休みだから何かひとつでも自身を成長させたいという思いで今回の留学を決めました。留学先では英語で言いたいことを上手く伝えられずもどかしさを感じたり、衛生面やインフラなどの違いにショックを受けたりすることもありました。しかし、仲良くなったクラスメイトと拙いながらも英語で会話をするのは楽しく、なによりお互いに意思疎通ができ、地域も言語も環境も異なる国の友達が沢山できたという事実が、確かな自信に繋がりました。そしてその自信をもとに、英語で人に声をかける度胸ができました。往路の飛行機の機内アナウンスが全く聞き取れず、現地の宿泊先への送迎スタッフとも合流できずに、ひとりただ困ることしか出来なかった私ですが、帰国後は街中で困っている外国人観光客に自分から話しかけられるようになりました。話しかけることが出来た理由は自分の英語力に対する自信ではなく、留学で身に着けた度胸と、経験からくる自信です。留学先で出会った人との会話や関わりを通じて、自分の英語の語彙力・表現力の乏しさを痛感すると同時に、英語力を上げて世界中の人と話がしたいという新たな夢も生まれました。度胸と自信の次には、確かな実力が必要です。この夢を実現させるため、今後もさらに英語の学習に力をいれていきます。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	個人渡航型 EF 校プログラム EF トロント校
-----	--------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	一食約 2000 円が平均
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	12000 円	
現地通学費	10000 円	(研修先まで 50 分) 娯楽目的の交通機関使用費用込
教養娯楽費	40000 円	
被服費	30000 円	
雑費	170000 円	旅行費(ニューヨーク)、国内観光費、
その他	円	例:
合計	258000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で両替しました。どの会社で両替するかは、その時の為替相場によって決定する方がよいです。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードは交通機関の改札にかざしても使用することができ、クレジットカード使用不可のお店は見たことがなかったです。しかし海外での使用にあたって、自動的に使用制限をかけられてしまうことが多くあるため、急に使用不可になってしまった場合のために、二枚用意していくことをおすすめします。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Esim を使用しました。Sim カードの入れ替え作業が省かれるので、とても楽にインターネットに接続することができます。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
電子レンジで炊飯が可能な容器を準備するとよいです。日本食は現地で販売していますが、日本の三倍はするので、インスタントの味噌汁、無洗米、ごはんパックは必須です。また、モバイルバッテリー、エコバック、昼食を学校に持参する用の小さいタッパーなどもあれば助かると思います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省のカナダに関する事件対策共有メールを受信するようにしました。大学提携の保険に加入することで自動的に配信設定がなされると思います。また、盗難防止対策として、手荷物は常に自分の前に持つことを心がけていました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
わたしは eSIM を利用していたのですが、問題なく使用できました。ただ、多くの eSIM は電話番号、SMS の使用が不可です。そのためカード会社の問い合わせを要する場合は、代理人にお願いしなければなりません。しかしカードの手続き内容によっては、カード名義人本人でなければ契約負荷の内容もあるため、心配な場合は SIM カードの移し替えをお勧めします。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☐ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
夏は日本に比べてとても涼しいです。(15度くらい) 交通機関は google map を利用して簡単に理解できます。トロントには日本人の学生も多く、自分次第で英語を使用する機会は変化してきます。英語の能力を向上したいのならば自分から積極的に遊びに誘ったり、授業内での発言を通して英語を使うことをおすすめします。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
学校の先生は、先生によって英会話重視、文法重視の授業をするひとでわかる。先生は自分では選択できないので、自分のニーズに合ったような先生に変更してもらうことをおすすめします。
2)課外プログラムについて
観光場所によっては自分で行った方が安い観光地も存在するため、よく調べてからいくことをおすすめします。また、ツアーだと時間に限りがあるため、個人的には個人で観光することをお勧めします。
3)現地での生活に関すること
ジャンクフード店がほとんどを占めており、日本食品店は全て高値のため、寮生活の方はインスタントの日本食品を持参することをお勧めします。また、都心なので夜間の治安はとても悪いです。夜間の外出は控えたほうが良いです。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
フランス人の学生がほとんどです。学校側から交流の場を設けてくれる機会が多くあり、積極的に英語を使用する機会が多くあります。授業内でも、先生から意見を求められることがあるためついに集中して英会話に励むことができます。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
ルームメイトが他の国籍の場合、日常内で英語を使用することができます。また学校内に交流スペースがあり放課後に友達とボードゲームやカフェブースを利用して交流を深めることができました。学校外では、ショッピングに行き、日常的な英会話力も向上することができました。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
日本よりも町の人々がフレンドリーで、公園、観光地先で出会った方が「日本が大好きです」と声をかけてくれることが多くあり、そこから互いの文化を共有することにつながった。また日本買い物をするときは、会計後に「ありがとうございました」といわれて終了だが、カナダはここにフランクな会話が加えられます。会計中の少しの沈黙の中でも、「今日はどこから来たんですか?」とか「あなたのお洋服とても素敵ですね」など、本人たちは意識していないのかもしれないですが、日本のマニュアルに即した接客ではなく、友達と接しているかのような気持ちのこもった対応にとても魅力を感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

多くの人が、留学をすれば英語は自然に上達する、という考えを持っていると思います。しかしこれは間違いです。実際に一か月異国の地で生活してみても思ったことは、「やりたいと思ったことを実行して初めて成長する機会を得ることができる」ということです。これは留学中でなくて、普段の大学生活でもいえることだともいます。将来自分がどのような強みを持った人間になりたいのか、時間に余裕のある大学生のうちに考えてみてほしいです。多くの大学生が、バイトや遊び、旅行など楽しいことばかりに目を向けてしまいがちです。しかし私は大学二年生で留学を経験し、あることに刺激を受けました。世界には自分よりもっと若いころから、目標や夢に向かって自発的に行動している人があることです。先を見据えることは面倒だし、はっきりとした目標のない学生も多いでしょう。そういうひとこそ、失敗が許される大学生のうちに、いろいろなことを経験して、自分にとって何が大切なのかを探し出してほしいと思います。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	個人渡航型 EF 校プログラム サンディエゴ校
-----	-------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	5万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 0 分) 寮に暮らしていました。
教養娯楽費	10万 円	
被服費	1万 円	
雑費	5万 円	
その他	円	例:
合計	21万9000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 親戚がもっていたものをもらいました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
アメリカではカード支払いが主流だったので、主にカードを使って支払っていました。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM を用意していきました。手続きも簡単で、現地でも特に困ったことはありませんでした。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
コップはもっていったて助かりました。歯を磨く際のうがいや、持って行った日本食を食べる際に助かりました。洗濯ネットを少ししか持って行かなかったため、洗濯の際に少し不便に感じました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
実際に現地を訪れたことのある知り合いに話を聞いたり、ネットで調べたりしながら情報収集しました。お金やパスポートなどは小さな金庫のようなものを持っていき、その中に保管していました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
学校や寮には Wi-Fi があったため、接続は問題ありませんでした。学校外においても、接続に関して困ったことはあまりありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
どれも綺麗な状態ではありませんでしたが、生活をするのには決して困りませんでした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
語学学校であったため、授業の中で必ず外国の人と話す機会が設けられていたことが良かったです。また、寮では必ず自分の国以外の人とルームメイトになるように振り分けられていたため、寮生活においても外国の人とのコミュニケーションをとる機会が多くありました。良くない点としては、そうはいってもそれぞれ自分の国の人同士で固まってしまうため、外国の人と一緒にどこか遊びに行くといったことはあまりできなかった点が挙げられます。
2)課外プログラムについて
自分たちで現地で計画を立てたりしながら色々な場所に出かけました。そこでしかできないような体験ができたため、とても満足しています。
3)現地での生活に関すること
治安の良さからサンディエゴを選びましたが、日本と比べると日本よりかはやはり治安は悪いため、夜遅くに歩くとといったことは危ないと感じました。また、車社会であるため、バスや電車を使うこともできますが、時々不便に感じました。その代わりにウーバータクシーといったサービスがあったため、それを頻繁に利用していました。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
授業のクラスメートや寮内のルームメイトなどとの交流は頻繁にありました。授業内でちょっとしたフィールドトリップのようなものがあり、そこでは同じクラスの人たちとご飯を食べに行ったりする機会がありました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
アメリカにはチップの文化があり、レストランなどではチップを払わなければなりません。日本にはその文化がなかったため、いくら払えばよいのか分からず、最初は探り探りでした。また、お店で注文をする際に自分から店員さんに声をかけるのはあまりよくないといったことを聞いたため、待たなければならなかったことも少し不便に感じました。ただ、現地の人々はすごく気さくで、道を歩いているだけでも話しかけられる機会が多くあり、そこはすごく面白いと感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

現地に行ってから数日間は初めて自分の国以外の人と生活を共にしたため、生活習慣や価値観の違いに困惑しましたが、慣れるとその状況を楽しめるようになりました。現地でしかできないような貴重な経験をたくさんすることが出来たし、自分の中の様々な視点を広げることもできました。迷っているなら勇気を出して絶対に行った方がいいです。英語でのコミュニケーション能力を伸ばすことが出来たと実感すると同時に、もっと英語をしゃべれるようにになりたいという思いが強くなり、勉強のモチベーションの向上にもつながりました。今後はより一層英語の勉強に力を入れていこうと思いました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	EF Boston
-----	-----------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45965 円	朝夜は寮のカフェテリアがあるが外食をする日もあった
図書費・学用品費	0 円	授業で使うテキストはもらえる
携帯・インターネット費	5780 円	Sim カード代
現地通学費	0 円	(研修先まで 0 分)
教養娯楽費	15434 円	博物館など
被服費	0 円	上着など含めしっかり日本から持っていけば新たに買う必要はない
雑費	63946 円	お土産、自分の買い物
その他	25983 円	例: Uber ride, 電車, バスなど、遊びに行く際の交通費
合計	157108 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 親が保持していた現金を持参した。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジット

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
tabitsu sim を利用した。Wifi は現地の学校のものを利用した。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
現地のカップ麺は日本のものと味が違うため、アメリカに持ち込めるカップ麺は少し持っていけばよかった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
留学先をボストンに選択する際、アメリカの中で比較的安全な街を調べた。前提として日本より危険なため、単独行動はしない、パスポートなど大切なものは持ち歩かず寮に置いて鍵を閉めるといったことを徹底した。盗難被害には遭わなかった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
sim カードを飛行機の中で差し替え、現地空港到着時からスムーズに接続・利用できた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態
☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1 人)

3) 共有部分

☐バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☒自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

EF の寮に関しては、夜遅くまで生徒と関われるラウンジがあるため、他国の生徒と関わりやすい。トイレ・シャワーは部屋ごとではなく全体共有なため、慣れるまでは少し不便。綺麗さは普通だが、日本と同じと思わない方がいい。キッチンは、電気ケトルと電子レンジしかない。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業は1コマ80分でしっかりあった。日本では、英語で英語を勉強する機会がないので、英語で英語が説明されているテキストがもらえる点は良いと思った。1クラスは多くても20人ぐらいで、スピーキングの時間が多いのも良い。クラスの友達と気軽に英語で話しやすいのも良い。今年は少し勉強していったためか、上のクラスに入れてもらえたため、クラスに日本人が少なかったのもよかった。ただ、日本人が少ない都市としてボストンを選んだものの8月は夏休み期間なため、寮全体としては日本人が多かったのは良くなかった点だ。

2)課外プログラムについて

EFではアクティビティという授業外のアクティビティがある。有料アクティビティには、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学ツアー、現地で有名な観光地ツアーがある。大学ツアーでは大学の歴史や特徴など含めてガイドしてくれるためとても良い。無料アクティビティでも学校内でマシュマロを焼くなど楽しめ、生徒との交流も活発にできる。

3)現地での生活に関すること

物価はやはり高い。1)でも述べたが、夏休み期間は日本人が多少なりいるため、スピーキング力を本気で向上させたいといった目的があるなら、積極的に他国の生徒に声をかけ、日本人とは距離を保つ覚悟は持っていくべき。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

同じ時期に到着した生徒とオリエンテーション時に交流できる。クラスが同じ生徒とは仲良くなりやすい。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

クラスで仲良くなった子とは、View Boston、Museum of Fine Arts や Museum of Science などのミュージアムに行った。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

現地について3週間ほど経つと日本食が恋しくなる。日本と異なり電車やバスはしばしば遅延する。また、アメリカ人のフレンドリーさには驚いた。もちろん国民全体というわけではないが、エレベーターの中で初対面の人同士が天気についての会話をしていた際には衝撃を受けた。他にも、アメリカにはチップ文化があるところも、慣れるのが大変だった点だ。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回の研修を通して様々な国の生徒と交流した時間はとても貴重な時間でした。他国の生徒と仲良くなるということは、授業外でも英語で話す機会が増えるということなので、とてもよかったです。一方、夏休み中ということもあり、語学学校には日本人も多少います。アドバイスとして、どうしても日本語で会話するのは楽ですが日本人に流されないことが需要です。それからもう一つ、行ってから現地で英語を勉強するのではなく、事前に勉強してからいくことをお勧めします。リーディングではなく、リスニングやスピーキングです。上のクラスに入ることができれば日本人の割合は少ないからです。また、1ヶ月アメリカで生活したことで、日本の素晴らしさを再確認しました。最後に、私は今後の抱負として、英語の勉強を継続すること、そして今回の短期留学を踏まえて、来年は長期留学に挑戦しようと思っています。英語の勉強について具体的には、英語を日常から遠ざけないためにPodcastsを毎日聴く、ポキャブラリーを増やすためにBBCニュースなどを読んでわからなかった単語をあぶり出す、などを徹底したいです。また、現地学生や外国の学生と交流を深めるために、日本についても留学先についても理解を深めていきたいです。